

第一支会通信

平成22年9月1日 更新

☆こんなまちにしたい

安全で安心して住める街、活気のある町並、幼き子育て家族から、中高年者とバランスが保たれている中で町が動き、パワーが自然と付いてゆく町でありたい。

☆第一支会ホットニュース！

神明町自治会

①町内疫病お祓いの夏祈禱行事

今年も、5月9日町内にある、神明神社（神殿は宝永3年（1706年）建立といわれている）に奉納されている獅子頭を中心に、先導者が小太鼓を鳴らし、お払い、獅子頭、随行者と続き、二手に分かれ自治会各家庭（1038世帯）を回る町内疫病お祓いの夏祈禱行事が行われました。お獅子随行者の万歩計が、2万歩を勇にこえるほどでした。

本行事は、古くは氏子が行っていましたが、皆高齢になり、現在は自治会有志に引き継がれています。獅子の縁起開始時期等は不明ですが、お獅子を持っている家庭はたくさんあります。

尚、他方においてもこのように同じ風習行事を耳にすることがあります。



②ラジオ体操

7月21日自治会主催、子供会協力によるラジオ体操が、今年も10日間無事に行うことができました。述べ参加人数は2366名でした。



③世代間交流盆踊り大会

7月31日～8月1日、第一地区社会福祉協議会の協力をいただき、世帯間交流盆踊り大会を開催いたしました。二日間で760名の方の参加を頂きました。



盆踊り会場にて8月1日、10時より2時間ほど、幼児、子供を対象に『子供お楽しみ会』を開催、ヨウヨウ吊り、輪投げ、当て袋、金魚すくいをして、子供さん176名は、楽しく親睦を深めておりました。



宮下町1丁目自治会

①ラジオ体操

7月21日から10日間、千歳会（老人会）、育成会協力によるラジオ体操が宮下公園で毎回60人ぐらいの参加を得て行われました。

②世代間交流盆踊り行事

宮下町1丁目自治会の世帯間交流盆踊り行事が8月7日、8日の2日間氷川神社境内の駐車場で行われました、今年は天気にも恵まれて数多くの人（延べ300人）たちが踊りに、模擬店の焼きそば、焼き鳥等楽しみながら交流を深めておりました。



城下、氷川町自治会

城下、氷川町自治会では7月21日から7月30日の10日間ラジオ体操が開催されました。当町内は交通量の多い国道254号線、県道51号線等通過しており、安全を考慮し4会場に別れ行われました、小学生、未就学児、保護者を中心でしたが多くの人たちが接する大切な時間でした、また未就学児の元気さが目立ちました。



宮下町2丁目自治会

8月21日宮下町2丁目自治会の世代間交流事業として夏祭りが開催されました。会場では、子供お楽しみ会（抽選会）&花火大会、模擬店、カラオケ大会、アニメ映写会、お楽しみ抽選会と参加者全員で親睦と地域の交流を図りました。



☆私たちの地域にこんな特色があります

第一支会には志多町の弁慶（県指定文化財）、喜多町の俵藤太（県指定文化財）、宮下町の日本武尊（市登録の歴史文化伝承）三台の山車がある。

志多町は、江戸時代の十カ町町割り北のはずれ「下の郷」と称し、城を中心とした武家社会の一翼を担っていましたが、社会の進化と変遷の中で、現在の志多町となって



東明寺

いる。そして地域内には、中規模のマンションが建ち、いわゆる旧住民と新規住民が概ね半数で構成された町と言える。そして中世の河越夜戦跡といわれる東明寺があり、古く伝わる伝統行事を氏子祭りとして、脈々としている町でもある。



川越夜戦跡の碑

☆こんな活動を行っています

各町内では防犯活動を行っている、町内のパトロールと低学年の登下校時の立哨が主であるが、志多町では隣接する町内（神明町、宮元町、喜多町、宮下町2丁目）子供たちが大多数のため、それぞれの町内の役員と連携しながら実施。活動の実態を広報誌で回覧し、隊員募集の狙いも含め、防犯ポスターなどを3カ月に一度のペースで作成掲示している。

又城下・氷川町では毎日犬の散歩をしている家庭に「防犯」と記入した散歩の小道具を入れる手提げを提供しパトロールをおねがいしている。



犬の散歩を通じた防犯活動